

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患(丸め)	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転播	転播	供血者発過の場合の供血者保管検体(抗原、抗体、NAT)(投与時点)	供血者発過及の場合の供血者の検査値	
輸血によるHBV感染報告例(疑い例を含む。)																										
供血者陽性事例																										
3-08047	A-08000170	2008/5/14	2008/5/28	人赤血球濃厚液-LR	女	60	循環器疾患	B型肝炎	08/01	HBsAg(-) (07/11) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/01)	HBsAg(-) (08/02) HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) IgM-HBcAb(+) (08/04)		HBV-DNA(-) (08/01)	HBV-DNA(+) (08/04)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体2本について1本はHBV-DNA(-)、1本はHBV-DNA(+)	陽性となった当該輸血用血液と同一採血番号の製剤として、1本の新鮮凍結血漿-LRがあり、確保済み。	3単位	0/2	2本の新鮮凍結血漿-LRを製造。新鮮凍結血漿-LRはすべて確保済み。	-	重篤	死亡(B型肝炎にて死亡、剖検なし。死亡と本剤との関連性あり。)		患者検体と献血者検体(HBV陽性保管検体)とでPreS/S領域を含むP領域の前半部の1550bpの塩基配列を比較したところ、献血者検体で4箇所塩基の混在があり、混在箇所では患者検体でそのうちの1塩基が存在した。その他の箇所はすべて一致した。献血者と患者のHBVウイルスはGenotype Bで塩基配列からSubtypeはadwと推定した。	
陽転事例																										
24 3-08049	A-08000172	2008/5/14	2008/5/28	人赤血球濃厚液-LR 人血小板濃厚液	女	60	血液腫瘍	B型肝炎	07/11 07/11- 08/01	HBsAg(-) HBsAb(-) (07/05) HBsAg(-) (07/10)	HBsAg(-) (08/01) HBsAg(+) HBsAg(+) (08/05)		HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (07/05) HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (07/10)	HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/01) HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/01) HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) (07/06) HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/05)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体4本全部HBV-DNA-		2単位 30単位	4/4 (HBV関連検査陰性)	4本の原料血漿を製造。原料血漿はすべて確保済み。	-	重篤	不明			
3-08054	A-08000222	2008/6/2	2008/6/11	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	80	血液疾患	B型肝炎	07/11- 08/02	HBsAg(-) HBsAb(-) (07/11)	HBV-DNA(+) (08/05)		HBV-DNA(-) HBsAb(-) HBcAb(+) (07/11)	HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) (08/05)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体6本全部HBV-DNA(-)	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	60単位	6/6 (HBV関連検査陰性)	6本の原料血漿を製造。原料血漿はすべて確保済み。	-	非重篤	未回復			
3-08056	A-08000353	2008/6/10	2008/6/23	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	80	血液腫瘍	B型肝炎	07/11	HBsAg(-) (06/5)	HBsAg(+) HBcAb(-) (08/02) HBsAg(+) HBcAb(+) (08/05)		HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (08/06)	陽性(輸血後)	保管検体2本全部HBV-DNA(-)		4単位	0/2	2本の新鮮凍結血漿血漿-LRを製造。新鮮凍結血漿血漿-LRはすべて確保済み。	-	非重篤	未回復				

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患(丸め)	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	献血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	献血者発過及の場合の献血者保管抗体(抗原、抗体、NAT)(投与時点)	献血者発過及の場合の献血者の検査値	
3-08058	A-08000355	2008.6.12	2008.6.23	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	77	血行障害	B型肝炎	08.04-05.05	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) HBsAg(-) HBeAb(-) (08.03)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBsAg(-) HBeAb(-) (08.05)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBsAg(-) HBeAb(-) (08.05)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBsAg(-) HBeAb(-) (08.05)	陽性 輸血後	保管抗体12本 全部HBV-NAT 実施予定			105単位 4単位		同一献血者製剤確保※		非重篤	軽快			
3-08059	A-08000380	2008.6.13	2008.6.27	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	60	血行障害 悪性腫瘍	B型肝炎	06.11-07.4	HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (06.09)	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (07.06) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) (07.07) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) (07.09) HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) HBeAb(+) IgM-HBcAb(-) (08.06)	HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (07.06) HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) (08.06)	陽性 輸血後	保管抗体8本 全部HBV-DNA(-)	乾燥スルホ化人免疫グロブリン ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン		70単位 2単位	6.8(HBV関連検査陽性)	7本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造。	原料血漿は全て使用済み、新鮮凍結血漿-LRは医療機関へ供給済み。	重篤	不明				
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性																										
3-08052	A-08000198	2008.5.20	2008.5.29	人赤血球濃厚液-LR	女	80	循環器疾患	B型肝炎	08.01	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) (07.12)	HBV-DNA(+) (08.05)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) (08.01)	陽性 輸血前 陽性 輸血後	保管抗体2本 全部HBV-DNA(-)				4単位	1/2(HBV関連検査陽性)	2本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。		非重篤	未回復			
3-08057	A-08000354	2008.6.10	2008.6.23	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	60	循環器疾患 腎臓病	B型肝炎	08.02	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08.02)	HBV-DNA(+) (08.06)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08.02)	陽性 輸血前 陽性 輸血後	保管抗体4本 全部HBV-DNA(-)	加齢による腎臓機能低下		8単位	1.4(HBV関連検査陽性)	4本の新鮮凍結血漿血漿-LRを製造。新鮮凍結血漿血漿-LRはすべて確保済み。		非重篤	不明				
陽転未確認事例																										
3-08061	A-08000382	2008.6.16	2008.6.27	新鮮凍結人血漿-LR 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	50	循環器疾患 腎臓病	B型肝炎	07.10	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) IgM-HBcAb(+) (08.06)	HBsAg(+) HBeAg(+) HBeAb(-) IgM-HBcAb(+) (08.06)	HBsAg(+) HBeAg(+) HBeAb(-) IgM-HBcAb(+) (08.06)	調査中	HBV関連検査 実施予定	保管抗体33本 についてHBV-NAT 実施予定			62単位 4単位	調査中	調査中	重篤	未回復				
3-08067		2008.6.27		人赤血球濃厚液	男	80	血行障害	B型肝炎	05.08-12	HBsAg(-) (05.08)	HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) (06.01) HBsAg(+) HBsAb(+) HBcAb(+) (08.06)	HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) (06.01) HBsAg(+) HBsAb(+) HBcAb(+) (08.06)	調査中	HBV関連検査 実施予定	保管抗体6本 についてHBV-NAT 実施予定			12単位	調査中	調査中	調査中	非重篤	不明			
輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む。)																										
献血者陽性事例																										

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患(丸め)	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発過及の場合の供血者保管検体(抗原、抗体、NAT)(投与時点)	供血者発過及の場合の供血者の検査値	
(該当症例なし)																										
陽転事例																										
(該当症例なし)																										
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性																										
3-08050	A-08000196	2008/5/16	2008/5/29	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	80	腎・泌尿器系疾患	C型肝炎	08/02-03	HCVコアAg(-)(08/02)	HCVコアAg(+)(08/05)	HCV-RNA(+)(08/02)	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+)(08/05)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体7本 全部HCV-RNA(-)			14単位	0/7			非重篤	未回復	7本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。		
3-08062	A-08000383	2008/6/18	2008/6/27	人赤血球濃厚液-LR	男	60	消化器腫瘍	C型肝炎	08/03	HCV-Ab(-)(08/02)	HCV-Ab(-)(08/06) HCV-RNA(+) HCV-Ab(-)(08/06)	HCV-RNA(-) HCV-Ab(-)(08/03) HCV-RNA(+) HCV-Ab(-)(08/03)	HCV-RNA(+) HCV-Ab(-)(08/06) HCV-RNA(+) HCV-Ab(+)(08/06)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体3本 全部HCV-RNA(-)	乾燥濃縮人アンチロビン?	4単位	1/3(HCV関連検査陰性)				重篤	軽快	3本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。		
陽転未確認事例																										
3-08064	A-08000390	2008/6/23	2008/7/3	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 新鮮凍結人血漿	男	60	循環器疾患	C型肝炎	07/03	HCV-Ab(-)(07/03)	HCV-RNA(+) Genotype1b HCV-Ab(+)(08/04)	-	調査中	HCV関連検査実施予定	保管検体7本 についてHCV-NAT実施予定			4単位 10単位	5	調査中	調査中	非重篤	未回復			
3-08065	A-08000391	2008/6/24	2008/7/3	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	免疫系疾患	C型肝炎	06/02	HCV-Ab(-)(06/02)	HCV-Ab(+)(08/04)	-	-	-	保管検体2本 全部HCV-RNA(-)			2単位	1/2(HCV関連検査陰性)			非重篤	不明	2本の原料血漿を製造。原料血漿は全て使用済み。		
3-08066		2008/6/27		新鮮凍結人血漿 人赤血球濃厚液-LR 人血小板濃厚液	男	70	循環器疾患	C型肝炎	07/12 07/12 07/12	HCV-Ab(-)(07/11) HCV-Ab(-) 07/12	HCV-Ab(+)(08/06)	調査中	調査中	HCV関連検査実施予定	保管検体6本 についてHCV-NAT実施予定			10単位 6単位 10単位	4/6(HCV関連検査陰性)			非重篤	調査中	3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿は使用の有無を調査中。新鮮凍結血漿-LRは確保済み。		
3-08068		2008/6/30		人血小板濃厚液(放射線照射)	男	50	血液腫瘍	C型肝炎	08/05	HCV-Ab(-)(07/11) HCV-Ab(-) (08/02)	HCV-Ab(-)(08/06) HCV-RNA(+)(08/06) HCV-Ab(-) 08/06	調査中	調査中	HCV関連検査実施予定	保管検体1本 についてHCV-NAT実施予定			10単位	0/1			重篤	未回復	1本の原料血漿を製造。原料血漿は使用の有無を調査中。		
輸血によるその他ウイルス感染報告例(疑い例を含む。)																										
(該当症例なし)																										
輸血による細菌等感染報告例(疑い例を含む。)																										

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患(丸め)	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発過及の場合の供血者保管検体(抗原、抗体、NAT)(投与時点)	供血者発過及の場合の供血者の検査値
3-08043	A-08000123	2008.5.8	2008.5.20	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	血液存在	細菌感染	08.05	-	輸血開始後35分でBP95/45、SaO2 93% 40分後BP 83/45 SaO2 93~95% 院内にて実施の患者血液培養は陰性	-	-	非溶血性副作用関連検査実施。 抗血漿タンパク質抗体検査(抗ヒロラミン)抗体陽性(輸血前) 血漿タンパク質欠損検査:欠損なし	-	投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施。陰性。	被疑薬:採血4日目の照射濃厚血小板(1本) 本症例は2008年5月2日に副作用名「ショック」として情報入手し、30日報告の準備を進めていたが、5月7日に細菌感染も疑われるので関連項目を調査してほしいという追加情報入手のため、感染症症例として報告。調査結果を受けて、担当医より「細菌感染と輸血血液との因果関係なし」とのコメントが得られた。	10単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	-	非重篤	回復		
3-08044	A-08000124	2008.5.8	2008.5.20	人血小板濃厚液HLA(放射線照射)	男	80	血液存在	細菌感染	08.05	-	輸血開始後50分で、全身性麻疹出現。輸血中止。患者血液培養は未実施。 院内にて患者エンドキシン検査実施。陰性	-	-	非溶血性副作用関連検査実施。 抗血漿タンパク質抗体検査。陰性 血漿タンパク質欠損検査:欠損なし	-	投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施。陰性。	被疑薬:採血4日目の照射濃厚血小板(1本) 調査結果を受けて、担当医より「細菌感染と輸血血液との因果関係なし」とのコメントが得られた。	10単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	-	非重篤	回復		
3-08045	A-08000125	2008.5.8	2008.5.20	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	70	呼吸器腫瘍	細菌感染	08.05	-	輸血開始後1時間で、発熱37.8°C→40°C BP140mmHg→210mmHg P 70.0min→134.0min 院内にて患者血液培養実施。Bacillus cereusを同定。	-	-	非溶血性副作用関連検査実施。 抗血漿タンパク質抗体検査。陰性 血漿タンパク質欠損検査:欠損なし	-	投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施。陰性。	被疑薬:採血13日目の照射赤血球濃厚液-LR(1本) 調査結果を受けて、担当医より「副作用・感染症と輸血血液との因果関係なしと考える。」とのコメントが得られた。	1単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	-	非重篤	軽快		
3-08046	A-08000169	2008.5.14	2008.5.28	人赤血球濃厚液-LR	女	60	腎臓系腫瘍	細菌感染	08.05	-	輸血後、発熱36.8°C→39.2°C 悪寒、血圧若干低下、痙攣。 院内にて患者血液培養実施。嫌気性グラム陰性菌を抽出。菌の同定できず。当該製剤のセグメントチューブを用いた血液培養は陰性。	-	-	非溶血性副作用関連検査実施。 抗血漿タンパク質抗体検査。陰性 血漿タンパク質欠損検査:欠損なし	-	投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施。陰性。	被疑薬:採血18日目の赤血球濃厚液-LR(1本) 2008年5月12日に副作用名「悪寒」として情報入手し、30日報告の準備を進めていたが、5月13日に患者血液培養より細菌が検出されたという追加情報入手し、細菌感染も疑われるとの担当医の見解が得られたため、感染症症例として報告。調査結果を受けて、担当医より「副作用・感染症と輸血血液との因果関係なし」とのコメントが得られた。	1単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	-	重篤	回復		

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患(丸め)	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転播	転播	供血者発過の場合の供血者保管検体(抗原、抗体、NAT)(投与時点)	供血者発過の場合の供血者の検査値
3-08048	A-08000171	2008/5/14	2008/5/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	20	血液腫瘍	細菌感染	08/05	-	幹細胞移植1時間後輸血、発熱38.3℃悪寒、動悸。院内にて患者血液培養実施、グラム陽性球菌検出。Enterococcus faeciumと同定された。	-	-	非溶血性副作用関連検査実施。抗血漿タンパク質抗体検査：陰性。血漿タンパク質欠損検査：欠損なし。	投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施、陰性。	併用血液製剤等	被疑薬：採血9日目の照射赤血球濃厚液-LR(1本)調査結果を受けて、担当医より「細菌感染と輸血液との因果関係なしと考える。」とのコメントが得られた。	2単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	-	非重篤	回復		
3-08051	A-08000197	2008/5/19	2008/5/29	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 人赤血球濃厚液-LR	男	70	肝・胆・膵臓病	細菌感染	08/05 08/05	-	36℃台-38.9℃院内にて患者血液培養実施、Klebsiella pneumoniaeを同定	-	-	非溶血性副作用関連検査実施。抗血漿タンパク質抗体検査：陰性。血漿タンパク質欠損検査：欠損なし。	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 当該製剤のセグメントチューブで細菌培養試験を実施、陰性。人赤血球濃厚液-LR 投与中止の当該製剤による細菌培養試験を実施、陰性。	併用血液製剤等	被疑薬：採血10日目の照射赤血球濃厚液-LR(1本)採血10日目の赤血球濃厚液-LR(1本)調査結果を受けて担当医より「細菌感染と輸血液との因果関係なしと考える。」とのコメントが得られた。	2単位 2単位	-	2本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	-	非重篤	軽快		
3-08055	A-08000293	2008/6/5	2008/6/16	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	90	循環器疾患・消化器疾患・血液疾患	細菌感染	08/05	-	BT36.8℃-38.5℃院内にて患者血液培養実施、Klebsiella pneumoniaeを同定。	-	-	非溶血性副作用関連検査実施予定	被疑薬2本のうち、1本については同一採血番号の血漿(1本)で細菌試験を実施、適合する1本は投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施、陰性。	併用血液製剤等	被疑薬：採血16日目の照射赤血球濃厚液-LR(2本)調査結果を受けて、担当医より「副作用・感染症と輸血液との因果関係なしと考える。」とのコメントが得られた。	4単位	-	2本の新鮮凍結血漿血漿-LRを製造。新鮮凍結血漿血漿-LRは全て確保済み	-	重篤	死亡敗血症にて死亡、剖検なし。 *死亡と本剤との関連性不明(担当医の見解)		
3-08060	A-08000381	2008/6/13	2008/6/27	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液疾患	細菌感染	08/06	-	BT38.8℃患者血培養は未実施。	調査中	調査中	非溶血性副作用関連検査実施予定	投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施予定。	併用血液製剤等	被疑薬：採血3日目の照射濃厚血小板	10単位	-	調査中	調査中	重篤	回復		
3-08063	A-08000389	2008/6/23	2008/7/3	人血小板濃厚液	女	40	血液腫瘍	細菌感染	08/06	BT36.8℃	BT38.2℃院内にて患者血液培養実施 陰性	-	調査中	非溶血性副作用関連検査実施予定	使用済みバッグによる細菌培養試験を実施予定。	併用血液製剤等	被疑薬：採血3日目の濃厚血小板	10単位	-	調査中	調査中	非重篤	未回復		

28

## 試行的HEV20 プール NAT 実施状況について

### (輸血後 HEV 感染の予防対策)

#### 1. 試行的HEV20 プール NAT 実施状況

北海道赤十字血液センター管内

調査期間:平成17年1月1日～平成20年5月31日

	献血者数	HEV-RNA 陽性	陽性率
H17. 1～H18. 2 <sup>*1</sup>	341, 174	45	1/7, 582
H18. 3～H20. 5 <sup>*2</sup>	600, 796	71	1/8, 462
合計	941, 970	116	1/8, 120

\*1 北海道センターにてNAT実施(ALT高値、検査不合格検体も含む)

\*2 血漿分画センターにてNAT実施(ALT高値、検査不合格検体は除く)

#### 2. HEV-RNA 陽性献血者の内訳

別添

## 2. HEV-RNA陽性者の内訳

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		遡及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
1	2005/01/04	32	M	57	-	-	+	無	不明レバー	生	無	
2	2005/02/07	38	F	11	-	-	+	無	ブタレバー	生	無	
3	2005/02/13	41	M	103	-	-	+	無	回答なし		無	
4	2005/03/25	65	F	17	-	-	+	無	回答なし		無	
5	2005/03/27	26	M	38	-	-	+	有	不明レバー(問診時)	生	有	赤血球製剤破損のため院内廃棄
6	2005/04/10	54	F	20	-	-	+	無	ウシ精肉	半生	無	
7	2005/04/15	59	F	16	-	-	+	無	ブタホルモン、シカ精肉	十分加熱	無	
8	2005/04/15	35	F	16	-	-	+	無	シカ精肉、ウシ精肉 ウシレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
9	2005/04/20	25	M	24	+	+	+	無	ウシレバー、ウシ精肉 ウシホルモン、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	有	感染なし
10	2005/04/28	22	M	44	-	-	+	無	回答なし		無	
11	2005/06/07	42	M	24	+	+	+	無	ウシ精肉 ウシホルモン、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	有	原疾患により死亡
12	2005/06/22	51	M	52	-	-	+	無	回答なし		無	
13	2005/07/03	58	M	219	+	+	+	無	不明レバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
14	2005/07/05	22	M	23	+	-	+	無	回答なし		無	
15	2005/07/05	38	M	15	-	-	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	半生	無	
16	2005/07/13	24	M	19	-	-	+	無	ウシレバー	生	有	原疾患により死亡
17	2005/09/02	33	M	49	-	-	+	無	ウシ精肉 ヒツジ精肉 ブタホルモン、ブタ精肉	生 半生 十分加熱	無	
18	2005/09/01	29	F	100	+	+	+	無	ウシホルモン、ヒツジ精肉 ウシレバー、ウシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
19	2005/09/20	42	M	31	-	-	+	無	ブタホルモン、不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	HEV感染(H17.11.1 運営委員会報告済み)
20	2005/09/27	20	F	10	-	-	+	無	ウシ精肉、ブタホルモン、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
21	2005/10/21	41	M	12	-	-	+	無	回答なし		無	
22	2005/10/25	44	F	38	+	+	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
23	2005/11/07	30	F	21	-	-	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ヒツジ精肉 ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
24	2005/11/07	31	F	12	+	+	+	有	ブタレバー、ブタホルモン、ウシ精肉	十分加熱	無	
25	2005/11/20	28	M	47	+	+	+	有	ウシレバー、ウマ精肉 ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	生 十分加熱	無	
26	2005/11/29	35	F	333	+	+	+	有	回答なし		無	
27	2005/12/13	42	M	30	-	-	+	有	ウシ精肉、ヒツジ精肉 不明レバー、ブタ精肉	半生 十分加熱	有	原疾患により死亡
28	2005/12/13	30	M	11	-	-	+	有	不明レバー	十分加熱	有	HEV感染(H18.01.26 運営委員会報告済み)
29	2005/12/22	62	F	14	-	-	+	無	回答なし		無	
30	2005/12/27	42	F	14	-	-	+	無	回答なし		無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		遡及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
31	2006/01/02	22	F	12	-	-	+	有	ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	無	
32	2006/01/06	68	M	23	-	-	+	無	ウシレバー、ブタホルモン、ヒツジ精肉	半生	無	
33	2006/01/13	36	M	42	-	-	+	無	ウマ精肉、不明レバー ウシ精肉、ヒツジ精肉 ウシレバー、ブタ精肉、ブタホルモン	生 半生 十分加熱	無	
34	2006/01/18	53	M	238	+	+	+	有	ウシレバー、ウシホルモン	十分加熱	無	
35	2006/01/13	31	M	43	-	-	+	有	不明レバー ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
36	2006/01/17	48	M	25	-	-	+	無	回答なし		無	
37	2006/01/25	52	M	25	-	-	+	無	不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	輸血後89日現在、HEVマーカーの陽転は見られず追跡調査終了
38	2006/01/30	39	F	22	-	-	+	無	回答なし		無	
39	2006/01/30	25	M	32	-	-	+	有	ウシ精肉、ウシホルモン、ブタ精肉	十分加熱	無	
40	2006/02/02	39	F	35	-	+	+	有	ウシレバー ウシレバー ヒツジ精肉	生 半生 十分加熱	無	
41	2006/02/07	57	M	13	-	-	+	無	不明	不明	無	
42	2006/02/07	40	F	172	+	+	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	
43	2006/02/17	39	M	28	-	-	+	無	ブタホルモン、ブタレバー、ブタガツ、ヒツジ精肉 イノシシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
44	2006/02/20	58	M	22	-	-	+	無	ヒツジ精肉	十分加熱	無	
45	2006/02/21	45	M	30	-	-	+	無	ウシ精肉 ブタ精肉、ブタレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
46	2006/03/01	46	F	15	-	-	+	無	回答なし		無	
47	2006/03/01	50	F	29	-	-	+	無	回答なし		無	
48	2006/03/02	54	M	47	+	+	+	無	ウシ・ブタ(精肉、レバー、ホルモン)、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
49	2006/03/27	40	F	12	-	-	+	無	回答なし		無	
50	2006/04/01	31	F	16	-	-	+		ヒツジ精肉	半生	無	
51	2006/04/04	30	F	14	-	-	+		ブタ精肉、不明レバー	十分加熱	無	
52	2006/04/12	38	M	45	+	+	+		ブタレバー、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
53	2006/04/18	21	M	26	-	-	+		ウシ精肉、ウシホルモン ウシ精肉、ウシホルモン	半生 十分加熱	無	
54	2006/04/22	28	M	14	+	+	+		回答なし		無	
55	2006/04/26	46	M	19	-	-	+		ブタレバー	半生	無	
56	2006/05/18	62	M	27	-	-	+		ヒツジレバー	十分加熱	無	
57	2006/07/07	17	M	33	-	-	+		回答なし		無	
58	2006/07/11	34	F	10	-	-	+		回答なし		無	
59	2006/07/12	21	F	27	-	-	+		回答なし		無	
60	2006/07/22	49	M	46	+	-	+		ウシ精肉、ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		避及対象供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
61	2006/08/01	62	M	18	-	-	+		ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
62	2006/09/06	44	F	14	-	-	+		喫食歴なし		無	
63	2006/09/29	68	M	15	-	-	+		ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
64	2006/10/21	29	M	22	-	-	+		不明		無	
65	2006/11/19	48	M	58	-	-	+		ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
66	2006/11/23	54	M	18	-	-	+		回答なし		無	
67	2006/12/01	43	M	55	-	+	+		ブタ精肉	十分加熱	無	
68	2006/12/04	60	M	46	+	+	+		ウシ精肉	十分加熱	無	
69	2006/12/04	47	M	40	+	+	+		ウシ精肉、ウシホルモン	十分加熱	無	
70	2007/03/01	33	M	41	-	-	+		ウシレバー	生	無	
71	2007/03/15	42	M	32	-	+	+		ブタレバー、ブタホルモン	半生	無	
72	2007/03/27	55	M	30	-	-	+		不明レバー	十分加熱	無	
73	2007/04/07	22	F	9	-	-	+		ユッケ ウシホルモン、ヒツジホルモン	生 十分加熱	無	
74	2007/05/16	47	F	15	-	-	+		ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
75	2007/05/18	40	F	27	+	+	+		ブタ生ハム(自家製)	半生	無	
76	2007/05/30	33	M	26	-	+	+		ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
77	2007/06/22	38	M	20	-	-	+		ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
78	2007/06/25	45	M	37	+	+	+		ブタ精肉 ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
79	2007/06/27	37	M	18	-	-	+		ブタ精肉	十分加熱	無	
80	2007/07/24	57	M	24	-	-	+		喫食歴なし		無	
81	2007/07/29	37	M	48	-	-	+		不明レバー、ブタホルモン 不明レバー、ブタホルモン	十分加熱 半生	無	
82	2007/07/31	48	M	30	-	-	+		ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
83	2007/08/01	48	M	33	-	-	+		ブタ精肉 ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
84	2007/08/04	53	M	28	-	-	+		ヒツジ精肉 ヒツジ精肉	十分加熱 半生	無	
85	2007/08/26	50	M	60	-	-	+		ヒツジ精肉 ウシ精肉	十分加熱 生	無	
86	2007/09/05	41	M	29	-	-	+		喫食歴なし		無	
87	2007/09/18	41	M	23	-	-	+		ウシ精肉、ブタ精肉、ウシホルモン、ブタホルモン	半生	無	
88	2007/09/21	57	M	19	-	-	+		ブタホルモン	十分加熱	無	
89	2007/10/03	59	M	39	-	-	+		ブタレバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
90	2007/10/03	19	M	40	-	-	+		喫食歴なし		無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		避及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
91	2007/10/09	35	M	19	-	-	+	/	ブタ精肉	十分加熱	無	
92	2007/10/18	30	M	31	-	-	+	/	ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
93	2007/11/16	24	M	5	-	-	+	/	不明		無	
94	2007/11/16	54	M	22	-	+	+	/	ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
95	2007/11/16	45	M	47	-	-	+	/	ブタ精肉 ブタレバー	十分加熱 半生	無	
96	2007/11/19	58	M	13	-	-	+	/	レバー、ホルモン	不明	無	
97	2007/11/19	24	M	46	-	-	+	/	不明		無	
98	2007/11/24	36	M	25	-	-	+	/	不明		無	
99	2007/11/29	42	M	21	-	+	+	/	不明		無	
100	2007/11/30	31	M	42	+	+	+	/	レバー	不明	無	
101	2008/01/08	35	M	36	-	-	+	/	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
102	2008/01/17	48	F	13	+	+	+	/	ブタホルモン、シカ精肉 ウシ精肉	十分加熱 半生	無	
103	2008/01/29	57	M	22	-	-	+	/	ブタレバー、ブタホルモン	十分加熱	無	
104	2008/02/04	31	M	47	+	+	+	/	不明		無	
105	2008/02/06	57	M	20	-	-	+	/	ブタホルモン	十分加熱	無	
106	2008/02/13	42	M	35	-	-	+	/	不明レバー	十分加熱	無	
107	2008/02/13	60	M	37	+	+	+	/	不明		無	
108	2008/03/11	30	M	21	-	-	+	/	不明		無	
109	2008/03/25	34	F	26	-	-	+	/	喫食歴なし		無	
110	2008/03/26	32	M	41	+	+	+	/	ブタ精肉、ウシ精肉	十分加熱	無	
111	2008/03/29	54	M	26	-	-	+	/	ブタ精肉	十分加熱	無	
112	2008/03/30	19	F	9	-	-	+	/	不明レバー	十分加熱	無	
113	2008/04/16	48	M	13	-	-	+	/	不明		無	
114	2008/05/12	33	M	12	-	-	+	/	ブタ精肉、ブタホルモン	半生	無	
115	2008/05/28	39	F	29	-	-	+	/	不明		無	
116	2008/05/28	47	M	46	-	-	+	/	ブタホルモン	十分加熱	無	

※1:問診喫食歴調査内容

05年 1月1日～05年10月31日:「過去3ヶ月以内にブタ、シカ、イノシシあるいは動物種不明の生肉、生レバーの喫食歴」

05年11月1日～06年03月31日:「過去3ヶ月以内に生肉(半生も含む)、レバー、ホルモン(動物種、焼き方を問わず)の喫食歴」、なお本調査は06年03月31日をもって終了

事 務 連 絡  
平成20年6月25日

日本赤十字社血液事業本部 御中

薬事・食品衛生審議会血液事業部会事務局  
厚生労働省医薬食品局血液対策課

### 血液製剤に関する報告事項について

血液事業の推進に御努力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきましては、平成20年4月24日付け血安第155号にて貴社から報告を頂いたところですが、平成20年7月15日（火）に平成20年度第2回血液事業部会運営委員会が開催されますので、下記の事項について資料を作成いただき、平成20年6月27日（金）までに当事務局あて御提出いただきますようお願いいたします。記の13については、平成20年5月21日開催平成20年度第1回血液事業部会運営委員会提出資料を更新のうえ、再度御提出ください。

なお、資料の作成に当たっては、供血者、患者及び医療機関の名称並びにこれらの所在地又はこれらの事項が特定できる情報を記載しないよう、個人情報及び法人情報の保護に特段の御配慮をお願いします。

### 記

1. 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
2. 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
3. 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る8人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
4. 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

査結果。来訪がなければ、その旨。

5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る9人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
10. 平成20年1月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る28人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
11. 平成20年2月8日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る73人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
12. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV（C型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る3人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
13. 試行的HEV20ブールNATについて、その後の調査実施状況。

血安第242号  
平成20年6月27日

厚生労働省医薬食品局血液対策課長 様

日本赤十字社  
血液事業本部長

血液製剤に関する報告事項について（回答）

平成20年6月25日付事務連絡によりご依頼のありました標記の件については、下記により回答いたします。

記

1. 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る2人のその後の来訪なし。（8名中6名が来所、検査は全て陰性）
2. 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る5人のその後の来訪なし。（37名中32名が来所、検査は全て陰性）
3. 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る8人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る8人のその後の来訪なし。（48名中40名が来所、検査は全て陰性）
4. 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る4人のその後の来訪なし。（16名中12名が来所、検査は全て陰性）
5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る1人のその後の来訪なし。（追跡調査対象の4名中3名が来所、HBV-DNAは全て陰性。1名はHBc抗体がEIA法のみ陽性HI法陰性、その他の者は全て陰性）

6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る5人のその後の来訪なし。（20名中15名が来所、検査は全て陰性）
7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る9人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る9人のその後の来訪なし。（53名中44名が来所、HBV-DNAは全て陰性、2名はHBc抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性）
8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る2人のその後の来訪なし。（29名中27名が来所、HBV-DNAは全て陰性、2名はHBc抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性）
9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る1人のその後の来訪なし。（3名中2名が来所、検査は全て陰性）
10. 平成20年1月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る28人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 11人がその後献血に協力頂き、検査は陰性。残る17人の来訪なし。（37名中20名が来所、HBV-DNAは全て陰性、2名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性）  
なお、当該患者のHBV-DNAが陽転化する前に輸血に使用された血液の供血者は24人であり、14人がその後献血に協力いただき、検査は陰性。残る10人の来訪なし。（24名中14名が来所、HBV-DNAは全て陰性、2名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性）
11. 平成20年2月8日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る73人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 34人がその後献血に協力いただき、検査は陰性。16人がその後再採血に協力いただき、1人\*はEIA法でHBs抗原及びHBc抗体陽性、その他15人の検査

は陰性。残る23人の来訪なし。(106名中83名が来所、HBV-DNA は全て陰性。1名\*はEIA法でHBs抗原及びHBe抗体陽性、1名はHBe抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性)

なお、当該患者のHBs抗原が陽転化する前に輸血に使用された血液の供血者は56人であり、54人がその後献血または、再採血に協力いただき、1名\*はEIA法でHBs抗原及びHBe抗体陽性、その他53人の検査は陰性。残る2人の来訪なし。(56名中54名が来所、HBV-DNA は全て陰性。1名\*はEIA法でHBs抗原及びHBe抗体陽性、1名はHBe抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性)

\*再採血時にEIA法でHBs抗原及びHBe抗体陽性であった1人については、当該献血時においてもEIA法でHBs抗原及びHBe抗体陽性であった。

12. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV(C型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る3人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

⇒ 残る3人のその後の来訪なし。(81名中78名が来所、検査は全て陰性)

13. 試行的HIV20ブールNATについて、その後の調査実施状況。

⇒ 別紙のとおり

## 試行的HEV20 プール NAT 実施状況について

### (輸血後 HEV 感染の予防対策)

#### 1. 試行的HEV20 プール NAT 実施状況

北海道赤十字血液センター管内  
調査期間:平成17年1月1日～平成20年5月31日

	献血者数	HEV-RNA 陽性	陽性率
H17.1～H18.2 <sup>*1</sup>	341,174	45	1/7,582
H18.3～H20.5 <sup>*2</sup>	600,796	71	1/8,462
合計	941,970	116	1/8,120

\*1 北海道センターにてNAT実施(ALT高値、検査不合格検体も含む)

\*2 血漿分画センターにてNAT実施(ALT高値、検査不合格検体は除く)

#### 2. HEV-RNA 陽性献血者の内訳

別添

## 2. HEV-RNA陽性者の内訳

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		遡及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
1	2005/01/04	32	M	57	-	-	+	無	不明レバー	生	無	
2	2005/02/07	38	F	11	-	-	+	無	ブタレバー	生	無	
3	2005/02/13	41	M	103	-	-	+	無	回答なし		無	
4	2005/03/25	65	F	17	-	-	+	無	回答なし		無	
5	2005/03/27	26	M	38	-	-	+	有	不明レバー(問診時)	生	有	赤血球製剤破損のため院内廃棄
6	2005/04/10	54	F	20	-	-	+	無	ウシ精肉	半生	無	
7	2005/04/15	59	F	16	-	-	+	無	ブタホルモン、シカ精肉	十分加熱	無	
8	2005/04/15	35	F	16	-	-	+	無	シカ精肉、ウシ精肉 ウシレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
9	2005/04/20	25	M	24	+	+	+	無	ウシレバー、ウシ精肉 ウシホルモン、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	有	感染なし
10	2005/04/28	22	M	44	-	-	+	無	回答なし		無	
11	2005/06/07	42	M	24	+	+	+	無	ウシ精肉 ウシホルモン、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	有	原疾患により死亡
12	2005/06/22	51	M	52	-	-	+	無	回答なし		無	
13	2005/07/03	58	M	219	+	+	+	無	不明レバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
14	2005/07/05	22	M	23	+	-	+	無	回答なし		無	
15	2005/07/05	38	M	15	-	-	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	半生	無	
16	2005/07/13	24	M	19	-	-	+	無	ウシレバー	生	有	原疾患により死亡
17	2005/09/02	33	M	49	-	-	+	無	ウシ精肉 ヒツジ精肉 ブタホルモン、ブタ精肉	生 半生 十分加熱	無	
18	2005/09/01	29	F	100	+	+	+	無	ウシホルモン、ヒツジ精肉 ウシレバー、ウシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
19	2005/09/20	42	M	31	-	-	+	無	ブタホルモン、不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	HEV感染(H17.11.1 運営委員会報告済み)
20	2005/09/27	20	F	10	-	-	+	無	ウシ精肉、ブタホルモン、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
21	2005/10/21	41	M	12	-	-	+	無	回答なし		無	
22	2005/10/25	44	F	38	+	+	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
23	2005/11/07	30	F	21	-	-	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ヒツジ精肉 ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
24	2005/11/07	31	F	12	+	+	+	有	ブタレバー、ブタホルモン、ウシ精肉	十分加熱	無	
25	2005/11/20	28	M	47	+	+	+	有	ウシレバー、ウマ精肉 ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	生 十分加熱	無	
26	2005/11/29	35	F	333	+	+	+	有	回答なし		無	
27	2005/12/13	42	M	30	-	-	+	有	ウシ精肉、ヒツジ精肉 不明レバー、ブタ精肉	半生 十分加熱	有	原疾患により死亡
28	2005/12/13	30	M	11	-	-	+	有	不明レバー	十分加熱	有	HEV感染(H18.01.26 運営委員会報告済み)
29	2005/12/22	62	F	14	-	-	+	無	回答なし		無	
30	2005/12/27	42	F	14	-	-	+	無	回答なし		無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		遊及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
31	2006/01/02	22	F	12	-	-	+	有	ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	無	
32	2006/01/06	68	M	23	-	-	+	無	ウシレバー、ブタホルモン、ヒツジ精肉	半生	無	
33	2006/01/13	36	M	42	-	-	+	無	ウマ精肉、不明レバー ウシ精肉、ヒツジ精肉 ウシレバー、ブタ精肉、ブタホルモン	生 半生 十分加熱	無	
34	2006/01/18	53	M	238	+	+	+	有	ウシレバー、ウシホルモン	十分加熱	無	
35	2006/01/13	31	M	43	-	-	+	有	不明レバー ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
36	2006/01/17	48	M	25	-	-	+	無	回答なし		無	
37	2006/01/25	52	M	25	-	-	+	無	不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	輸血後89日現在、HEVマーカーの陽転は見られず追跡調査終了
38	2006/01/30	39	F	22	-	-	+	無	回答なし		無	
39	2006/01/30	25	M	32	-	-	+	有	ウシ精肉、ウシホルモン、ブタ精肉	十分加熱	無	
40	2006/02/02	39	F	35	-	+	+	有	ウシレバー ウシレバー ヒツジ精肉	生 半生 十分加熱	無	
41	2006/02/07	57	M	13	-	-	+	無	不明	不明	無	
42	2006/02/07	40	F	172	+	+	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	
43	2006/02/17	39	M	28	-	-	+	無	ブタホルモン、ブタレバー、ブタガツ、ヒツジ精肉 イノシシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
44	2006/02/20	58	M	22	-	-	+	無	ヒツジ精肉	十分加熱	無	
45	2006/02/21	45	M	30	-	-	+	無	ウシ精肉 ブタ精肉、ブタレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
46	2006/03/01	46	F	15	-	-	+	無	回答なし		無	
47	2006/03/01	50	F	29	-	-	+	無	回答なし		無	
48	2006/03/02	54	M	47	+	+	+	無	ウシ・ブタ(精肉、レバー、ホルモン)、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
49	2006/03/27	40	F	12	-	-	+	無	回答なし		無	
50	2006/04/01	31	F	16	-	-	+		ヒツジ精肉	半生	無	
51	2006/04/04	30	F	14	-	-	+		ブタ精肉、不明レバー	十分加熱	無	
52	2006/04/12	38	M	45	+	+	+		ブタレバー、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
53	2006/04/18	21	M	26	-	-	+		ウシ精肉、ウシホルモン ウシ精肉、ウシホルモン	半生 十分加熱	無	
54	2006/04/22	28	M	14	+	+	+		回答なし		無	
55	2006/04/26	46	M	19	-	-	+		ブタレバー	半生	無	
56	2006/05/18	62	M	27	-	-	+		ヒツジレバー	十分加熱	無	
57	2006/07/07	17	M	33	-	-	+		回答なし		無	
58	2006/07/11	34	F	10	-	-	+		回答なし		無	
59	2006/07/12	21	F	27	-	-	+		回答なし		無	
60	2006/07/22	49	M	46	+	-	+		ウシ精肉、ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当 ※1	喫食歴調査		避及対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
91	2007/10/09	35	M	19	-	-	+	/	ブタ精肉	十分加熱	無	
92	2007/10/18	30	M	31	-	-	+	/	ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
93	2007/11/16	24	M	5	-	-	+	/	不明		無	
94	2007/11/16	54	M	22	-	+	+	/	ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
95	2007/11/16	45	M	47	-	-	+	/	ブタ精肉 ブタレバー	十分加熱 半生	無	
96	2007/11/19	58	M	13	-	-	+	/	レバー、ホルモン	不明	無	
97	2007/11/19	24	M	46	-	-	+	/	不明		無	
98	2007/11/24	36	M	25	-	-	+	/	不明		無	
99	2007/11/29	42	M	21	-	+	+	/	不明		無	
100	2007/11/30	31	M	42	+	+	+	/	レバー	不明	無	
101	2008/01/08	35	M	36	-	-	+	/	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
102	2008/01/17	48	F	13	+	+	+	/	ブタホルモン、シカ精肉 ウシ精肉	十分加熱 半生	無	
103	2008/01/29	57	M	22	-	-	+	/	ブタレバー、ブタホルモン	十分加熱	無	
104	2008/02/04	31	M	47	+	+	+	/	不明		無	
105	2008/02/06	57	M	20	-	-	+	/	ブタホルモン	十分加熱	無	
106	2008/02/13	42	M	35	-	-	+	/	不明レバー	十分加熱	無	
107	2008/02/13	60	M	37	+	+	+	/	不明		無	
108	2008/03/11	30	M	21	-	-	+	/	不明		無	
109	2008/03/25	34	F	26	-	-	+	/	喫食歴なし		無	
110	2008/03/26	32	M	41	+	+	+	/	ブタ精肉、ウシ精肉	十分加熱	無	
111	2008/03/29	54	M	26	-	-	+	/	ブタ精肉	十分加熱	無	
112	2008/03/30	19	F	9	-	-	+	/	不明レバー	十分加熱	無	
113	2008/04/16	48	M	13	-	-	+	/	不明		無	
114	2008/05/12	33	M	12	-	-	+	/	ブタ精肉、ブタホルモン	半生	無	
115	2008/05/28	39	F	29	-	-	+	/	不明		無	
116	2008/05/28	47	M	46	-	-	+	/	ブタホルモン	十分加熱	無	

※1: 問診喫食歴調査内容

05年 1月1日～05年10月31日: 「過去3ヶ月以内にブタ、シカ、イノシシあるいは動物種不明の生肉、生レバーの喫食歴」

05年11月1日～06年03月31日: 「過去3ヶ月以内に生肉(半生も含む)、レバー、ホルモン(動物種、焼き方を問わず)の喫食歴」、なお本調査は06年03月31日をもって終了

# 安全対策業務の流れ

